

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『凹んだ道路と車の税』

町田市立鶴川第二中学校 3学年 太刀川 琵琶

数年ほど前、私の家の近くの道路にはよく大きな水たまりができていた。その部分には大きく凹みがあり、雨が降ると必ずそこに水たまりができていた。雨の日に車がそこを通ると水しぶきが上がるし、私も歩いていて何度もその水たまりにはまってしまったことがある。何とかして直してもらえないものかと思っていたある日、道路の補修工事が行われ、水たまりができる大きな凹みは綺麗になくなっていった。誰が工事費用を払ってやってくれたのだろうと思いつに聞くと、その工事の費用は税金から支払われていることを教えてくれた。また、道路の整備や補修工場に使う税金の多くは自動車を利用する人々が支払った税金が使われているということも知った。

そこで、自動車を利用する人々が支払う税金について調べたところ、自動車に関わる税金には、「自動車税」「自動車重量税」「環境性能割」「消費税」の四種類があることがわかった。私はこの四種類のうち自動車税と消費税しか知らなかったもので、自動車にはこんなに多くの税金がかかっているとは思わなかった。その中でも特に「自動車重量税」というものがあることを知ってとても驚いた。なぜ自動車の重さで税金がかかったり、重量によって税金の金額が変

わるのか疑問に思い調べると、重い車ほど道路を傷めてしまうことから、道路の劣化の補填のために納付が義務付けられていることがわかった。確かに重い車が沢山走って道路が劣化してしまうと、その道路を修理するためにもお金がかかるので、このような税金もなくてはならないものだと思った。また、ガソリンを購入する際にも、「ガソリン税」というものも支払っているそうなので、この「ガソリン税」も、主に道路整備の財源に使用される目的で設定されている。

このようにして、多くの税金のおかげで凹んだ道路も綺麗に補修され、心地よい生活を送ることができているのだとわかった。自動車に関する税金について調べただけでも、綺麗な道路を利用することができているのは、多くの税金のおかげであることを学ぶことができ、その税金も、人々が暮らしやすくよりよい社会をつくっていくためによく考えられて設定されているものだと思った。私は初め、税金を支払うのは少し面倒だと感じていたし、「税金は社会保険に充てられている」と言われてもぼんやりしていてよくわからなかった。しかし、自分の身近なところで税金に支えられていることを実感できた。私達の生活は常に税金に支えられていて、税金は社会に大きく貢献しているものだと感じた。近年、税金に対してあまり良いイメージのないニュースが増えてきているが、もう一度、税金の存在の大きさや税金のありがたみをよく理解することが必要なのではないかと思った。